

尿トラブルで悩んでいませんか？



第二川崎幸クリニック
泌尿器科部長

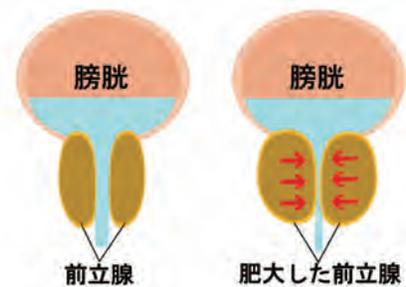
森山 正敏（もりやま まさとし） 医師



尿が出づらい、回数が多くなった、排尿後も尿意が残るなどの原因には過活動膀胱（かかつどうぼうこう）、膀胱や尿道の障害など様々なものがありますが男性の場合に注意したいのが**前立腺肥大症**です。

前立腺肥大症とは

前立腺は、膀胱の出口で尿道を取り囲むように存在しています。前立腺肥大症は、この前立腺が大きくなることで尿道を圧迫し、尿の通りを悪くして、残尿感を感じたり、頻尿になるなどの排尿障害を起こす病気です。中高年になり男性ホルモン環境の変化が起こることにより症状が出やすいとされています。



症状

前立腺肥大症になると、人によって次のような症状がみられます。典型的な初期症状といえるのが①②③です。

- ① 尿の勢いがよくない
- ② 尿が途中で途切れる
- ③ 終わったあとも尿が残っている感じがする（残尿感）
- ④ お腹に力を入れないと尿が出にくい（腹圧排尿）
- ⑤ トイレの回数が多い（頻尿）
- ⑥ 睡眠時に何度もトイレに行く（夜間頻尿）
- ⑦ 尿意を感じると我慢できない（尿意切迫感）
- ⑧ 尿意があるのに出ない（尿閉）



治療法

前立腺肥大症の治療には、「保存治療」「薬物治療」「手術治療」の3つがあります。肉眼的血尿、尿路感染、尿閉、膀胱結石、腎機能障害などの前立腺肥大症による合併症がみられる場合には手術治療が行われますが、それ以外の場合は、まず薬物治療が行われます。

気になる症状がある場合は、一度泌尿器科医師に相談することをおすすめします。

診療のご案内



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

受診予約 ☎ 044-511-2112

電話予約受付時間

月～金 8:00～20:00 土 8:00～17:00 日 8:30～17:00 祝日 8:30～17:00